

－1995年1月1日～2015年12月31日までに岡山大学病院にて  
外陰腫悪性黒色腫と診断された方へ－  
「本邦における外陰腫悪性黒色腫についての調査研究」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学病院皮膚科・助教 加持達弥

分担研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・病態制御科学専攻病態機構学講座・皮膚科学分野・教授 岩月啓氏  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・病態制御科学専攻病態機構学講座・皮膚科学分野・講師 山崎 修

## 1. 研究の意義と目的

本邦における外陰腫悪性黒色腫についての調査研究を行い、患者背景及び治療方法の現状を把握し、今後外陰腫悪性黒色腫に対して前向き臨床試験を計画する際の有用な情報とします。

## 2. 研究の方法

1) 研究対象：1995年1月1日から2015年12月31日までの21年間にJGOG参加施設及び日本皮膚悪性腫瘍学会施設において外陰腫悪性黒色腫と診断された患者さん 200名(岡山大学では6名を予定)

2) 研究期間：2017年3月開催の研究倫理審査専門委員会承認後から2017年12月31日まで

3) 研究方法：現在既に存在する診療情報をもとに、外陰腫悪性黒色腫患者さんの患者背景因子、治療関連因子、転帰について後ろ向きに調べます。

4) 調査票等：研究資料にはカルテから年齢、性別、腫瘍深達度、組織型、TNM(Tは原発腫瘍の大きさ、Nはリンパ節転移の広がり、Mは離れた部位への転移の有無を示す)の病期分類、治療、経過、転帰の情報を抽出し使用させていただきますが、個人情報情報は削除して匿名化し、個人情報などが漏えいしないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保護：調査情報は、外部に漏れることがないように、久留米大学医学部産科婦人科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワードで制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。研究結果はあなたの個人情報から分からない形にて論文、学会発表で公開することがありますので、ご了承ください。なお、研究結果を患者さん個人に開示することはありません。また2019年12月31日までは資料を保存いたします。

6) 研究への協力拒否について：あなたの資料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年10月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不便が生じることはありません。

7) 研究計画書の開示について：本研究の研究計画書が婦人科悪性腫瘍研究機構のホームページ(<http://www.jgog.gr.jp/index.html>)にて開示されます。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：加持達弥

電話：086-235-7282 ファックス：086-235-7283